



災害時 廃棄物対応マニュアル



- 本情報は経営塾OB会Aブロックワークショップ活動にて、実際に東日本大震災を経験した情報を時系列にまとめて記載しています。
- 災害時への備えとしてご活用いただければ幸いです。
- 現時点では情報が少ないですが、今後は財団ホームページとの連携や、facebookでの情報共有など内容の充実を図っていく予定です。

震災直後

● キーワード

- ・火災 ・停電 ・食糧飲料水 ・安否確認
- ・通信(顧客・処理先) ・翌日業務(配車等)の判断

● 従業員の安否確認

➡ 連絡網は縦だけでなく横連絡も要。

携帯やメールに加え安否確認ダイヤルも掲示を。

● 備蓄

➡ 優先順位は1.水、2.食糧(電気ガス不使用)、毛布
規模に応じた量を備蓄し、定期的買い換え要



震災1週間後

● キーワード

- ・燃料不足 ・計画停電 ・行政の保身的対応
- ・マニフェストが流された

- 被災地以外の支店や工場からの調達も有効
- 商工会や自治会など地域の協力や仲間の重要性
- 地元行政との連携や組合形式などの「災害復興協力協定」等の可能性の模索
- プリウスが有効
- 原材料の品薄に乗じた不当廉売



震災半月後

～1か月後

● 経営判断が必要になる

- ・ 売上回収
- ・ 雇用
- ・ 資金繰り
- ・ 納入先の状況変動
- ・ 受入先の状況変動

● 営業先まわり効果

被災直後は搬入量や運搬量が減少したが、

半月後から搬入の依頼が増加。

気持ちの変化としては、「減少してへこみ、

増加して立ち直り、余震で心折れる」



震災3ヵ月後 ～半年後



- 「火事場泥棒」のような話が出てくる
- 放射能問題
- 受入先の値上げ
- 電力不足(夏季電力制限)による工場稼働